

万を中心生アイス

連盟が、アイスホを盛り上



熱戦が繰り広げられた小学生ホッケー大会

げ、競技人口を拡大することなどを目的に、今年初めて開いた大会。地元同クラブをはじめ、滋賀長野、静岡の4県から合わせて8チームが参加、氷上で熱い戦いを展開した。

2日までリーグ戦を行い、順位を競った。開会式には佐原光一豊橋市長が出席、「けがのないよう2日間、力いっぱいがんばって」と選手を激励した。

かつて豊橋市藤沢町のスケートリンクで活動していた同クラブは県内では無敵OBから国体選手を輩出するなど活躍していたが96年、リンク閉鎖とともに休部。アクアリーナがオープンした06年に活動を再開した。河合監督が「やっとここまで来た」と語るように、10年のブランク後はゼロからのスタートだったという。「ホッケーを通じて全国の子どもたちが交流してほしい」。来年以降は全国大会への拡大を目指して活動する。

(松井俊満)

# 家で紙芝居など楽しむ

## 豊橋のボランティア「わんぱく」のイベント盛況



折り紙を楽しむ参加者たち(本陣で)

### 鎧兜の試着や折り紙教室

#### 二川宿本陣にぎわう

豊橋

豊橋市二川宿本陣 内で鎧(よろい)・資料館は1日、本陣「兜(かぶと)」の試着



鎧兜の試着をする子供(本陣で)

体験と折り紙教室を開いた。

9日まで開催している「五月人形展」に関連したイベントで、本陣内で明治時代から現代の五月人形約100点を展示している。

試着は事前申し込みで、年中から小学6年生の20人が参加。子供たちは、すね当てや籠手(こて)、具足など、職員に順に着せてもらった。兜をかぶり、小さな武将へ変身すると思わずにっこり。家族

がその姿をカメラに収めていた。市内在住の鈴木恵美子さんと一平君(6)、慎平君(4)の親子は広報で知って参加。一平君は「思った以上に重かったけど、楽しかった」と話していた。

また折り紙教室は、二川折り紙ボランティアグループ(神山節子代表)の指導で、このほりを折った。訪れた親子連れは、みな夢中になって折り、それぞれに完成させた。

(小柳幸子)

老大師も出席した。この日同寺では、

花まつりも同時に開催され、大勢の参拝

豊橋市石巻本町の廣福寺(臨済宗妙心寺派、今泉照主住職)は1日、永代供養塔「幸せの塔」、七福神像「布袋尊像」の建立開眼法要を行った。写真。同寺では一昨年から境内整備事業に取り掛かっており、永代供養塔などは4月に完成した。開眼法要には同派の大本山から則武秀南



(高松太郎)

### 一歩踏み込んだ事業を

古澤会長 530運動環境協議会が総会

530運動環境協議会(古澤功三会長)はこのほど、2

い、作らない530のまち」「環境学習を行う530のまち」など4つの目標に沿って活動を推進する。具体的には、530運動の普及啓

総会で、古澤会長は「10月に名古屋でCOP10が開かれ